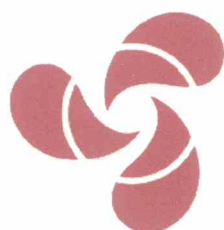


2022 年度 事業計画書・収支予算書

期間：2022年4月1日～2023年3月31日



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター

<目次>

I. 2022 年度事業計画にあたって	2
II. 法人の運営に関する事項	9
III. 2022 年度活動予算書	10

I. 2022 年度事業計画にあたって

長引くコロナ禍によって、経済的にも精神的にも追い込まれている方々が増えています。そして、ロシアによるウクライナへの侵攻に、さらに心を痛めている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。このような状況に対して「私には何もできない」と諦めるのではなく、「私にも何かできることがある」と行動することもできます。現に、ウクライナから避難してきた方を受け入れた家族、寄付を集めて避難者支援をする NGO に寄付する商店街、ウクライナ出身 YouTuber の呼びかけに応じてゲーム上の名前に「NO WAR」と掲げる子どもたち。

せんだい・みやぎ NPO センター（以下、当センター）は、市民一人ひとりの小さな願いから社会や地域をつくることができると信じ、活動を続けています。

地域課題の発掘と解決を促す共創プラットフォームの構想から、2020 年より開始した「せんだい・みやぎソーシャルハブ（以下、ソーシャルハブ）」を通じて、コロナ禍で加速した社会課題の解決を目指し、いくつかの市民活動がはじまりました。ソーシャルハブは、オンライン上で情報交換や議論を行い、社会課題を可視化し、活動の途中経過も発信することで、これまで市民活動に関わってこなかった学生や社会人がソーシャルハブ発の活動に参加するきっかけをつくりました。

その後彼らは、参加した活動の中心メンバーとなったり、別の市民活動にも参加するようになったり、別の新たな活動をはじめたり……。実際の市民活動に参加したことで、今度は自ら課題を見つけ、活動をはじめることができるようになっています。このように、課題を設定するところから参加した経験を持つ市民が増えることで、次の活動がはじまり、また新しい参加者を迎え入れる。このような連鎖を起こしていくことで、市民活動の裾野を広げられると考えています。

新しい中期計画（2022～2024 年度）では、当センターの主要な事業としてソーシャルハブを位置づけます。ソーシャルハブの取り組みと各サポートセンターの取り組みとを連動させ、社会や地域の課題の可視化と多様な主体が参加、協働しやすくなる場をオンラインとオフライン両方で展開します。そして、3 年後には、年間 30 を越える市民活動が新たに生まれる仙台・宮城を実現します。

だからこそ、より大切になるのは各サポートセンターで市民と向き合う、職員一人ひとりの存在です。市民の願いが誰かに届き、実現するように、職員の育成や採用に取り組みます。

私たちは市民社会の実現を諦めません。すべての人が「私にも何かできる」と

考え、行動できる市民社会を実現するべく、今年も活動を進めていきます。

2022 年度の主な取り組み

(1) 多様な市民が参加できる環境づくり

- ・ 社会課題や解決のための取り組みのヒアリング
- ・ 課題の可視化と活動の承継に向けた支援
- ・ 課題や活動に参加できる「場」づくりによる参加者の拡大
- ・ 多様な主体が協働し、支援策を検討・実行できる「場」の運営

(2) 市民の活動を支えるための資源提供

- ・ 市民の課題解決を支援する社会的資源(人材等)の募集と提供
- ・ 本部機能強化のため、賛助会員の募集や寄付集めの実施
- ・ 社会的事業の立ち上げ支援の開始

(3) 市民の想いの伴奏ができる人材の育成体制の構築

- ・ 内部人材育成指標の検討と仮運用、および採用活動の見直し
- ・ 組織内情報共有体制の整備
- ・ 職員の外部研修等への参加支援
- ・ 職員の市民活動参加の促進
- ・ 伴奏（コーディネート）人材の育成体制構築の準備

その他、情報発信事業等、継続した取り組みにおいては、上記の視点をより踏まえて取り組む。

仙台市市民活動サポートセンターの指定管理

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

仙台市市民活動サポートセンターは、本指定管理期間（令和 2 年度～令和 6 年度）の基本方針を下記の通り定めた。

1. 仙台市市民活動サポートセンター運営基本方針

平成 27 年 7 月の条例改正で掲げられた市民協働によるまちづくりの理念を実現するため、これからのサポートセンターは、協働によるまちづくりの拠点へと変化していく必要がある。

現在試行している「社会課題解決のプラットフォーム」を着実に進捗させていく。地域の問題が市民や関係機関との協働により可視化され、課題として解決できるプロジェクトが次々と生まれ、企業も含む多様な市民が課題解決に参画している状態を目指していく。

2. 事業実施方針

(1) 社会課題発見・解決のプラットフォームの構築と着実な実績積み上げ

(=社会課題解決エンジンの社会実装)

行政・市民活動団体はもちろん、市民や営利企業、他地域のプロ人材等がそれぞれの得意分野を持って寄り合う場を形成する。

(2) 市民目線での社会課題の発掘と未来志向の社会デザインの具現化への市民の巻き込み促進 (=市民目線での社会課題の抽出・アイディアのすくい上げ)

日々持ち込まれる相談から市民目線で社会課題を発掘し、また「10 年後に社会を大きく変えうる面白いアイディア」の種を拾い上げ、コーディネーターと共に「社会課題解決のプラットフォーム」に持ち込み、多様な主体の力を合わせてインキュベートする。

(3) 仙台市域の市民活動団体の組織・事業面での底上げとセクターを超えた人材の交流による育ちあいの推進

□施設概要

所在地：仙台市青葉区一番町 4-1-3

TEL：022-212-3010 FAX：022-268-4042

開館時間：平日・土曜日 午前 9 時～午後 10 時 日曜日・祝日 午前 9 時～午後 6 時

休館日：毎月第 2・第 4 水曜日（水曜日が祝日の場合はその翌日）および年末年始（12/29～1/3）

□職員体制（2022 年 4 月 11 日現在）

常勤職員 12 名、非常勤職員 9 名（非常勤職員のうち 3 名は、シアター専任）

（センター長 1 名、副センター長 2 名）

□業務の範囲及び具体的内容

使用許可等に関する業務 / 事業の企画及び実施に関する業務（情報収集提供事業、相談事業、人材育成事業、協働に関する理解促進及び機会創出事業、調査研究事業） / 維持管理に関する業務

[実施事業]

実施事業		事業内容
情報収集 提供事業 (事業1)	市民活動、協働等に関する情報収集提供業務全般	・市民活動、協働等に関する情報の収集および提供 ・図書資料の収集、管理及び貸出 ・チラシ、ポスターの受付、掲示及び関係施設への配布 ・サポートセンターのホームページの管理及び更新
	機関誌『ばれっと』の発行	・市民活動者・市民活動団体の紹介 ・協働の事例紹介など ・毎月（年12回）3,000部程度発行
	市民ライターの活用	・市民ライター向けのワークショップ
相談事業 (事業2)	相談対応	・市民活動全般に関する相談対応 ・協働を進めるために必要な相談対応 ・相談ツールの活用（改訂）
	伴走相談・アウトリーチ相談	・相談対応後のフォローアップ（状況確認） ・施設利用団体から提出された活動報告書を基に相談 ・アウトリーチ相談（アシスタ 起業・創業相談）
	協働実践者の活用	・協働の実践現場の訪問／協働の実践者との関係構築 ・協働相談
人材育成 事業 (事業3)	支える市民を増やす	・地域メディア TOHOKU360 との協働による動画配信番組「いづいっちゃんねる」
	活動力強化講座・相談会	・団体の活動段階に合わせた、会計・資金調達に関する講座・相談会
	発表の場づくり	・マチノワひろば、マチノワギャラリー、サポートセンター主催事業等で発表の場を提供
	若者の人材育成に資する事業への協力	・仙台若者アワード／仙台まちづくり若者ラボへの協力 ・宮城野区中央市民センター「まいぶろ」協力
協働に関する理解促進 及び機会創 出事業 (事業4)	協働事例の発掘・理解促進	・『ばれっと』の記事と連動した取材動画の公開
	多様な主体の交流の場	・若者を対象としたオンライン交流会
	せんだい・みやぎソーシャルハブ	・多様な主体が参加する情報交換会 ・課題解決のためのプロジェクト立ち上げ
調査研究 事業 (事業5)	多様な主体の参加による協働体制の構築	・社会課題解決のプラットフォーム試験運用のための協働体制の確立
	ソーシャルラボ機能の実装	・社会課題を市民の手で調査分析・可視化するソーシャルラボ機能の実装。

多賀城市市民活動サポートセンターの管理・運営受託

(2020年4月1日～2023年3月31日)

多賀城市市民活動サポートセンター（以下、TSC）は、管理・運営業務受託期間3ヵ年（令和2～4年度）の施設運営方針を定め、取り組みを進めている。

1. 令和2～4年度施設運営方針

□TSCが目指す多賀城のまちの姿

- ・共通する課題や手段ごとに、自治会・町内会、NPO、企業、学校、行政等のさまざまな主体が連携している。

- ・さまざまな年代の方が、多様な方法で地域に関わっている。

→それによって、防災、高齢者、障がい者、子育てなど、地域のさまざまな課題が自治の力によって解決されている。

□令和4年度末の姿

5つ程度の現状の枠を超えた動きが出ている。複数の動きでは、成果が見え始めていることにより、新たな連携が生まれたり、成果が出ている動きに他の主体も参加し始めたりしている。

□TSCの役割

地域の自治力を高めること

2. 実施事業

（1）地域の担い手の育成事業

1）雑貨市

無関心層を対象に、市民活動の入口をより多く示し、活動に関わる人を増やす。

- ・キッズ雑貨市、クリスマス雑貨市、Instagramでの情報発信

2）いちから塾

想いの整理から地域課題へ視野を広げていく。

- ・NPOいちから塾、TAGAJO Future Labo

3）NPO運営パワーアップ

NPOを対象に、課題解決に取り組むために必要な運営力のアップ。

- ・なんでも相談会、パワーアップ講座、ボランティア情報の収集、お役立ち情報の更新

4) 支える人材（行政等）

人材育成や連携の視点を持ってネットワーク型会議に参加し、T S Cの強みを活かす。

- ・自治基盤、地域福祉、協働教育など、多様な機関が連携して取り組む場へ参加

(2) 自治会・町内会支援事業

各地区の取り組みを共有することによって、課題解決に向けた新たなアクションを生み出す。他の主体と連携した取り組みの実践が生まれる。

- ・役員以外が関わる実践支援、地域を知る場づくり、市が行う小学校区単位の情報交換会への協力

(3) 連携による課題解決を進める事業

課題に向けて効果的な関係をつくり、解決の実践の場につなげていく。連携事例を発信することで新たな連携のきっかけをつくる。

- ・課題を深掘りし、アイデアを出し合う場をつくり、実践につなぐ。

(4) 情報発信事業

1) フリーペーパー「tag」発行

市民が市民活動に触れる機会を増やす。

- ・「tag」発行（年5回、各2,000部）

2) コロナ禍における情報発信事業

市民が市民活動に触れる機会を増やす。

- ・YouTubeチャンネルに団体紹介等の動画をアップ

□施設概要

所在地：多賀城市中央2-25-3

TEL：022-368-7745 FAX：022-309-3706

開館時間：平日・土曜日 午前9時～午後9時30分

日曜日・祝日 午前9時～午後5時

休館日：毎週水曜日（水曜日が祝日の場合はその翌日）および年末年始（12/28～1/4）

□職員体制（2022年4月1日現在）

常勤職員8名、非常勤職員2名

（センター長1名、副センター長2名）

□業務の範囲及び具体的内容

窓口業務／情報収集及び発信業務／多様な主体間による協働の実践に関する事業

相談業務／事業の実施（人材育成、ネットワーク形成、促進・啓発、市職員研修）

岩沼市市民活動サポートセンターの運営支援

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

岩沼市では、2009 年から、協働のまちづくり推進会議（市民で構成）と協働のまちづくり検討委員会（市職員で構成）の合同による会議が行われ、協働のまちづくりに関する「提言書」が作成された。当センターは、この会議のコーディネーターとして、学びの支援や研修を行い、2012 年に市民活動サポートセンターの試行が始まってからは、運営についての助言や相談員の派遣、市民向け講座を担ってきた。

2018 年 10 月の「いわぬま市民交流プラザ」開館とともに、市民活動サポートセンターが同施設内へと移転。これまでの試行が終わり、本格的な運営を開始した。

本年度も、引き続き運営についての助言、相談員の派遣を実施する。

□施設概要

所在地：岩沼市館下二丁目 3 番 1 号 いわぬま市民交流プラザ内

TEL：0223-35-7205 FAX：0223-35-7265

開館時間：平日・土曜日 午前 9 時～午後 7 時

休館日：毎週日曜日、祝日および年末年始（12/28～1/4）

管理：岩沼市さわやか市政推進課

□運営支援の具体的内容

・相談運営支援

市民活動サポートセンターの運営相談、情報・資料提供等

市民活動サポートセンター主催事業の運営に関するアドバイス

市民、団体からの相談業務、情報・資料提供

（相談会：11 回、講座：2 回）

・サポートセンタースタッフ研修

センター運営、市民活動団体サポートに関するスキルアップ研修（2 回）

・サポートセンター関係者打合せ

センターの管理運営、市民活動団体サポートに関する情報交換（年 5 回）

Ⅱ. 法人の運営に関する事項

1. 通常総会の開催

第24回通常総会の開催

日 時 : 2022年6月18日(土) 14:00～15:30

会 場 : トークネットホール仙台

2. 理事会の開催

年5回程度の理事会を開催する。その他、事業開発に関するミーティングを随時開催する。

3. 評議員会の開催

今年度もあり方を再検討し、再開を目指して検討を進める。

4. 会議について

- ・管理職ミーティング(月1回)
- ・センター会議(年4回程度)
- ・各事業(施設運営)における会議
(目的に応じて頻度と参加対象者は異なる)

5. 事務局体制について

- ・組織の基盤業務を行うにあたり、適正規模を見極めながら、引き続き体制整備を行う。
- ・中間支援組織としてスタッフ全体の力量形成と向上に努める。また、他団体との連携も図りながら、多様な参画型の事業体制で進める。

6. 職員研修

- ・価値規範の見直しについては、継続して取り組む。
- ・管理職を中心に研修体系の検討を継続する。また現行の研修スタイルを改善しながら、スタッフの内部研修を年3～4回程度開催し、勤続年数や部門、役職に必要なスキルや知識を高める。
- ・外部研修への自発的な参加を促し、内部での共有も図る。
- ・スタッフの学ぶ意欲や向上心を引き出し、自発的かつ自由な学びの機会の創出を大いに推奨し、それに理事も積極的に応援をしていく。

Ⅲ. 2022 年度活動予算書

活 動 予 算 書
特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
自2022年4月1日 至2023年3月31日

	金額 (税抜)	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	350,000	
賛助会員受取会費	400,000	
2. 受取寄付金	1,500,000	
3. 受取助成金	4,450,000	
受取寄助成金		
4. 事業収益		
事業収入	2,000,000	
仙台市 S C	90,096,588	
多賀城市 S C	37,895,455	
5. その他収益		
雑収入	50,000	
経常収益 計		136,742,043
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料	82,600,000	
通勤費	3,500,000	
法定福利費	11,700,000	
福利厚生費	370,000	
人件費計	98,170,000	
(2) その他経費		
売上原価		
業務委託費	4,000,000	
諸謝金	1,800,000	
印刷製本費	2,200,000	
打合会議費	200,000	
旅費交通費	900,000	
車両費	20,000	
通信運搬費	2,200,000	
消耗品費	2,000,000	
広告宣伝費	1,500,000	
保守・修繕費	2,200,000	
水道光熱管理費	9,500,000	
地代家賃	1,800,000	
減価償却費	0	
保険料	45,000	
諸会費	150,000	
租税公課	10,000	
研修費	110,000	
支払手数料	500,000	
資料収集費	300,000	
外注費	5,000,000	
リース代	3,250,000	
会場費	160,000	
雑費	60,000	
その他経費計	37,905,000	
事業費 計		136,075,000
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料	400,000	
人件費計	400,000	
(2) その他経費		
打合会議費	2,000	
旅費交通費	15,000	
通信運搬費	20,000	
消耗品費	5,000	
宣伝広告費	3,000	
保守・修繕費	3,000	
水道光熱費管理費	2,000	
地代家賃	65,000	
保険料	1,000	
諸会費	5,000	
支払手数料	3,000	
業務委託料	10,000	
研修費	1,000	
資料収集費	920	
リース代	7,000	
会場費	2,200	
慶弔費	30,000	
雑費	10,000	
その他経費計	185,120	
管理費 計		585,120
経常費用 計		136,660,120
当期経常増減額		81,923
III 経常外収益		
経常外収益 計		
IV 経常外費用		
経常外費用 計		
税引前当期正味財産増減額	81,923	
法人税、住民税及び事業税	72,000	
経理区分振替額		
当期正味財産増減額	9,923	
前期繰越正味財産額	44,876,401	
次期繰越正味財産額	44,886,324	

事業費の内訳

(単位：円 税抜き)

	定款(1)	定款(2)	定款(3)	定款(4)	定款(5)	定款(6)	定款(7)	事業費合計
	人材の発掘・育成	相談とコーディネート	マネジメントサポート	ネットワーキング	調査研究及び政策提言	情報サポート	施設運営	
成事者の人数(実施した延べ人数)	8	10	8	8	8	5	35	82
受益対象者の範囲	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	主に仙台・多賀城の市民	
受益対象者の人数	500	500	700	500	600	70,000	100,000	172,800
給料手当	500,000	2,460,000	100,000	600,000	600,000	1,200,000	77,140,000	82,600,000
通勤費	30,000	120,000	10,000	10,000	30,000	30,000	3,270,000	3,500,000
法定福利費	68,500	337,020	13,700	82,200	82,200	164,400	10,951,980	11,700,000
福利厚生費	2,500	12,300	500	3,000	3,000	6,000	342,700	370,000
人件費計	601,000	2,929,320	124,200	695,200	715,200	1,400,400	91,704,680	98,170,000
(その他経費)								
売上原価	0	0	0	0	0	0	0	0
業務委託費	350,000	1,500,000	10,000	110,000	10,000	20,000	2,000,000	4,000,000
諸謝金	20,000	530,000	10,000	100,000	20,000	120,000	1,000,000	1,800,000
印刷製本費	0	200,000	0	0	0	500,000	1,500,000	2,200,000
打合会議費	20,000	30,000	5,000	5,000	5,000	35,000	100,000	200,000
旅費交通費	30,000	130,000	20,000	60,000	10,000	100,000	550,000	900,000
車両費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	5,000	5,000	20,000
通信運搬費	10,000	70,000	10,000	60,000	10,000	40,000	2,000,000	2,200,000
消耗品費	10,000	200,000	10,000	20,000	10,000	20,000	1,730,000	2,000,000
広告宣伝費	40,000	1,000,000	10,000	10,000	10,000	30,000	400,000	1,500,000
保守・修繕費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	2,170,000	2,200,000
水道光熱管理費	0	0	0	0	0	0	9,500,000	9,500,000
地代家賃	20,000	20,000	3,000	3,000	3,000	15,000	1,736,000	1,800,000
保険料	500	500	500	500	500	500	42,000	45,000
諸会費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	30,000	150,000
租税公課	200	200	0	0	0	600	9,000	10,000
研修費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	80,000	110,000
支払手数料	15,000	15,000	1,000	1,000	1,000	1,000	466,000	500,000
資料収集費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	270,000	300,000
外注費	10,000	10,000	10,000	20,000	20,000	500,000	4,430,000	5,000,000
リース代	10,000	10,000	10,000	90,000	30,000	50,000	3,050,000	3,250,000
会場費	5,000	70,000	2,000	50,000	3,000	5,000	25,000	160,000
雑費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	5,000	40,000	60,000
その他経費計	580,700	3,825,700	141,500	569,500	172,500	1,482,100	31,133,000	37,905,000
事業費合計	1,181,700	6,755,020	265,700	1,264,700	887,700	2,882,500	122,837,680	136,075,000

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町1-8-10 大和ビル4F

TEL 022-264-1281 FAX 022-264-1209

URL <http://www.minmin.org> E-mail minmin@minmin.org



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター